

**Warning:**

Not to be sold to  
persons under 18  
years of age



# GIRL'S CAPRICCIO REQUIEM

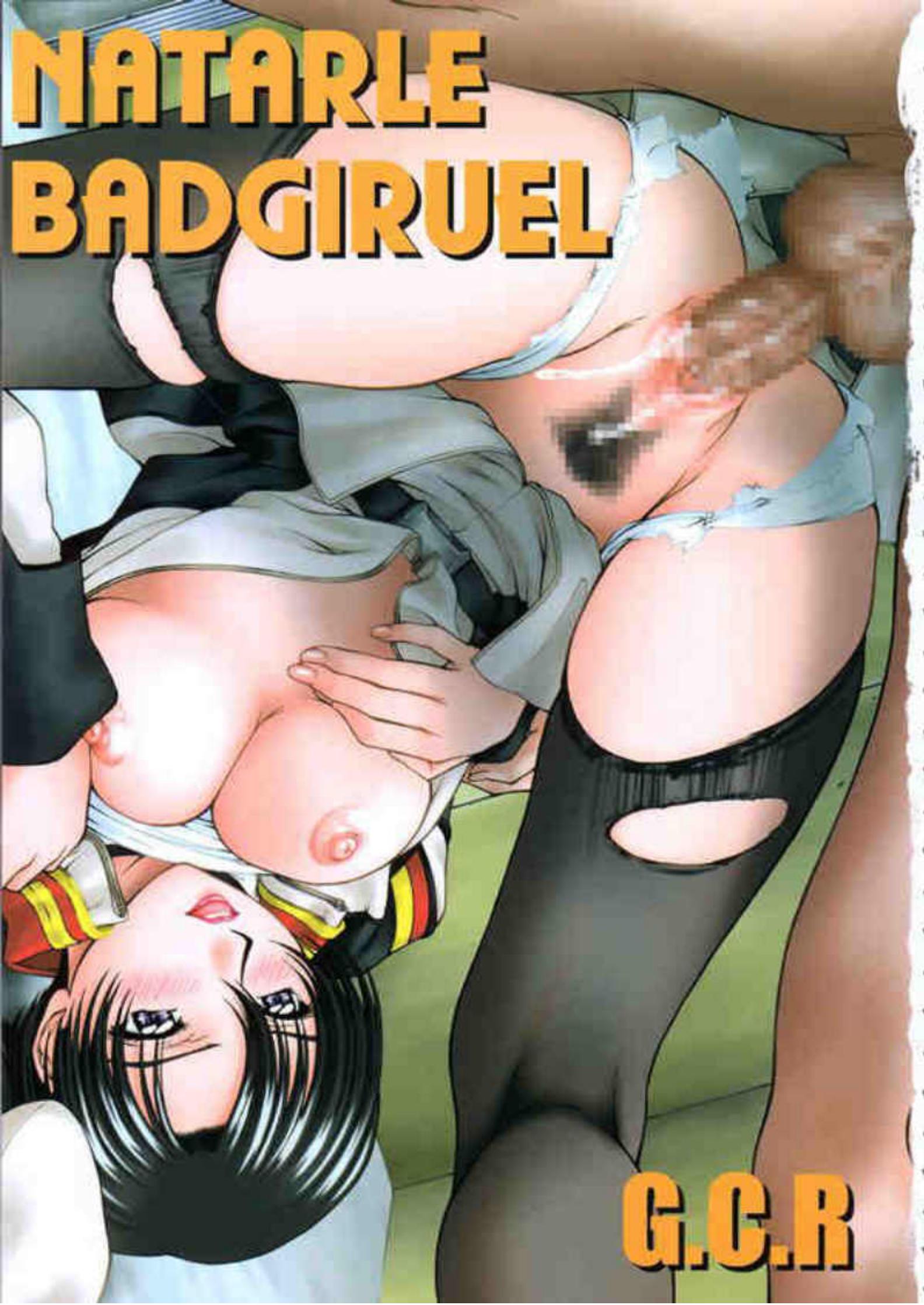
ガールズ

カプリチオ

レクイエム

It is offered to the beautiful soldiers  
who dropped a life by the flames of war.

**PRESENTED BY HILAND-STUDIO 2003 IN WINTER**



# NATARLE BADGIRUEL

G.C.R

G.C.R



Fellay  
Allster





# TO THE END OF WAR



ちょッ…何だよ  
ミリアリア  
今日は…スゲえ

ん…ふう

あ…ああつ

いいから…  
ディアツカも  
もつとしてよ

あ…あア

はあ…んツ

入れる…ぞ

ああ…つ

…うん

あ…ハあ

あはア…んつ

ミリアリア…ッ



わ 私の胸つて  
気持ちいい…か!?

ああ…ツ

だって 最初は  
男と見間違えた  
くらいだし…

え…!?

そうだったな  
こんなに綺麗な  
胸があるのにな

あ…シツ

物足りなく  
ないのか!?

え…あッ

顔も

胸…だけ!?

クリトリスはまだ  
包皮に隠れてるんだ

やだ…あ

弾力のある大陰唇と  
絡みつく小陰唇…

あ  
ピンク色だ  
綺麗な

ん…んッ

あ…やア

…ココも







ミリアリア…

ミリイ…いいよ

ディアツカ 私…  
全てを受け入れたいの

私の事をもつと  
知つて欲しいし  
あなたの事も もつと

俺もお前を  
知りたい…

…うん

いいのか!?

あ…ぐう









イイ…よお  
ディアツカのツ

チンボ…つ  
キモチいいツ

もお…イキそッ

じゃあ…

直腸にブチ撒くぞ  
アナル  
ミリイ…いいか!?

いいよツ出してえ

ディアツカ…あツ!!

力ガリ…脇に  
出すぞツいいか!<sup>なか</sup>!

うん…きてツ  
アスランのを

あツ…来るつ

はア…ああ

んつ…ん

ふウ…ンツ

あ…あツ

アスランの…が

膣なかで出てる…よお

当たり前だろ  
ずっといるさ

ねえ…これからも  
ずっとそばにいて  
くれるよね!?

そして…愛して  
くれるよね!?

ああ…

**G.C.R**

**Asagi Cordwell**

G.C.R

Jui Wu Nian

G.C.R



Mayura  
Rabbatz

# あ と が き

ども、ウエノです。今回はカラー口絵付きとフルデジタル入稿というダブルの初モノでの発行です。綺麗に仕上がっていいるか心配ですが、ここはボブルスさんを信じることにします。さて、今回もガンダムSEED本ですが…やっちゃんいましたね本編(笑)。夏コミで『全員死亡エンディングがあるかも』と予想していたけど、もっと後味が悪かったね。ナタルとフレイに関しては戦火を拡大させた原因を作ったとして自らの命を代償にして罪を償わされたみたいな感じで、特にフレイに至っては「最後にキラに守ってもらえたという真実を知って魂も救済されました。」みたいに描かれていたけど、アラスカで艦を降りたフレイはその後のキラとラクス進展を知らない訳で、キラの心は既にフレイから離れている(ただのトラウマと化している)のに、まだ愛され続けられていて今度こそは本当に向き合えると信じながら死んでしまったというのはあまりにも酷い仕打ちでは(前半にキラを苦しめ続けた報いだからか?)と思いつき今回のカラー口絵のウエディングドレス姿を描こうということになったみたいです。それにしてもナタルにしろ三人娘にしろもっと違う使い道はなかったんかいと思うよ、監督さんよ。『この作品のテーマは戦争です。』とか言ってたみたいだけど、「悪は必ず滅んで主人公は何があっても死なない」ってベタベタのヒーローアニメじゃんか。これじゃ同人で好き放題イジられても文句言えないよキミ。ということで描いてみたが好き放題は出来なかった(泣)。やっぱ20Pでダブルヒロインの話は無理があったね。反省。まぁとにかく買ってってくれてサンキュ!感謝感激!

2003 12 30

ウエノ直哉

## オフレコ ちょっぴり ぶっちゃけ 裏話

2003年も終わろうかという時に話すのもなんだけど、7月に出た単行本…かなり苦戦してまして(汗)。発売前は「大台は当然、超大台も狙える。」と太鼓判を押され下世話な話ニヤつきながら電卓叩いてました。初めの1ヵ月間は好調だったが、予想を下回る急激な落ち込みで大幅下方修正を容易に想像出来る状況に。超大台はもちろん大台に届くのも困難な雰囲気が…。編集のプロも当てを外すこともあるだろうし自分の実力もこんなモンだろうと素直に受け入れ…うーん、もし掲載誌がMujinだったらとか思ってる自分がいるのが本音。発行部数も真激とかなり差もあるし、Mujin組と同等の条件で勝負させてもらえてたら違う結果もあったのではないかと完全な責任転嫁な考え。まぁ編集部にそんな義務など無い訳だしヒット作を生み出せなかったのは紛れも無い事実。中のなか下…か。2004年は自分にも皆にも良い年でありますように。

# GIRL'S CAPRICCIO REQUIEM

ガールズ カプリチオ レクイエム

平成 15年 12月 30日 初版発行

著者 ウエノ直哉

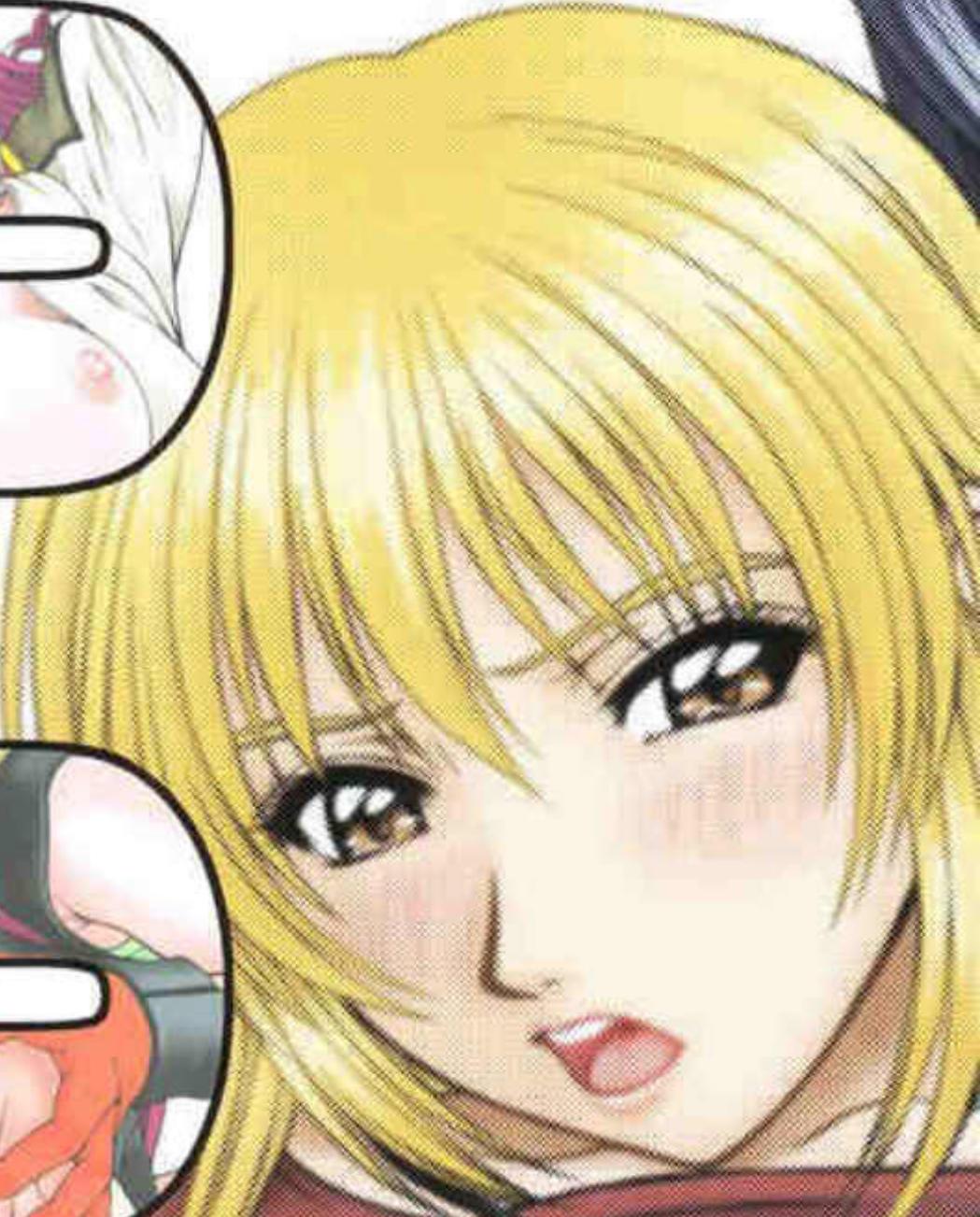
発行所 ハイランド工房

印刷所 株式会社ポブルス

★本作品はフィクションです。実在の事件・人物・団体等には関係ありません。

★都道府県条例等により 18歳未満による購読・閲覧は一切 禁止となります。

★本誌掲載作品の無断複製、上演、放送（ネットアップ含む）等を禁じます。



# GIRL'S CAPRICCIO REQUIEM

Presented by Hiland-Studio